

	YKKグループ経営体制、YKK AP報告書体系、編集方針	3
	YKKグループとYKK APの理念	4
Chapter 01	経営戦略	
	トップメッセージ	8
	財務担当役員メッセージ	16
	コーポレートガバナンス戦略	20
Chapter 02	価値創造とマテリアリティ	
	価値創造の歴史	26
	価値創造プロセス	28
	マテリアリティに基づく取り組み	30
	特集1 価値創造に向けたモノづくり体制の進化	32
	製造資本戦略	32
	知的資本戦略	38
	特集2 持続的成長と組織力向上の礎となる人材	42
	人的資本戦略	42
	特集3 信用・信頼を守る盤石な基盤構築	50
	リスクマネジメント戦略	50
	コンプライアンス戦略	52
	環境経営戦略	53
Chapter 03	事業戦略	
	住宅事業	59
	エクステリア事業	60
	ビル事業	61
	グローバルカーテンウォール事業	62
	産業製品事業、ランドスケープ事業	63
	海外 AP 事業	64
	受賞トピックス、会社概要	67



表紙写真：
YKK AP30ビル
(富山県黒部市)
2024年10月竣工

YKKグループ経営体制

YKKグループは、1934年にYKK創業者 吉田忠雄がファスナーの加工販売を始めて以降、一貫生産体制の確立や海外展開など、ファスナーに新しい価値を創造しながら事業を展開してきました。現在のYKKグループは、YKKによるファスニング事業、YKK APによるAP事業^{*}を中核とし、YKK精神「善の巡環」、経営理念「更なるCORPORATE VALUEを求めて」を共有する企業集団です。2021年からは共通する考え方や理念を持ちながら、それぞれの事業に最適な経営体制で、事業競争力を高めています。テクノロジー・イノベーションセンター（TIC）は両事業の架け橋となり、技術面で貢献しています。

^{*}Architectural Products（建築用工業製品）の設計、製造、施工および販売を行う事業。



YKK AP報告書体系

YKK APの報告書体系は、企業価値や社会課題解決への取り組みを伝える「統合報告書」、環境負荷と対策を詳述する「環境報告書」、サステナビリティ関連データを集約した「サステナビリティデータブック」、そして「決算情報」で構成されています。これらの報告書を通して、YKK APは多角的な情報を開示しています。



編集方針

「YKK AP統合報告書 2025」は、ステークホルダーの皆様に向けて、当社のパーパス「Architectural Productsで社会を幸せにする会社。」に基づいた、事業活動を通して社会を幸せにする会社であるための様々な取り組みをより広く知っていただくことを目的に発行しています。本報告書は、国際統合報告評議会（IIRC）「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイダンス」、GRI(Global Reporting Initiative)「GRIスタンダード」を参照しています。



国連グローバル・コンパクト(UNGC)参画

YKK APは、世界最大のサステナビリティイニシアチブである「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」の理念に賛同し、2021年5月に署名しました。

対象範囲

YKK AP株式会社
YKK AP関係会社

対象期間

2024年度
(2024年4月1日～2025年3月31日)
※一部、対象期間外の情報も含まれます。